

今年もコロナ禍の中、最低賃金審議がスタート

熊本県における2022年度の最低賃金（最賃）を改定する審議会が2022年7月7日（木）、熊本労働局の入る熊本地方合同庁舎において始まりました。審議会は、労使の代表5人と学識者5人の計15人。労働者代表として、連合熊本から山本事務局長と猿渡副事務局長、地域協議会を代表して県南地協の花岡事務局長、構成組織を代表



新田労働局長から高峰会長に諮問

して電機連合の中谷議長、UAゼンセンの西次長が委員として入っています。当日は新田労働局長から審議会の高峰会長に諮問書が渡されました。昨年は28円アップと現方式での最高額となりましたが、現在の熊本県の最賃は821円と全国最下位グループにあり、九州トップの福岡県の870円と比べても49円も格差があります。使用者側は新型コロナウイルス感染拡大に加え、原材料高、エネルギー高による企業への影響が大きくなっているなかで、雇用を守ることを優先すべきと主張することが予想されます。これに対し、労側としては、世界的なインフレの流れが、日本においても始まっており、生活者の最低限の生活を守るためにも、近年の引き上げの流れを止めるべきではなく、大幅な最賃引き上げを主張して参ります。今後、中央審議会が月内にも示す目安額を踏まえ、10月の発効を目指して、8月初旬の決着に向けて議論を進めます。



連合熊本

3811 情報

発行 日本労働組合総連合会
熊本県連合会
発行・編集人 山本 寛
〒862-0976
熊本市中央区九品寺1丁目17-9
☎(096)375-3811 FAX(096)375-3017
印刷所 株式会社 チューイン
2022年7月28日発行 No. 359

出口しんたろう候補 初当選ならず

連合組織内比例候補は8人が当選

第26回参議院議員選挙が6月22日公示され、7月10日に投開票されました。

連合熊本は熊本県選挙区に出口しんたろう候補を推薦し、連合組織内比例候補9名とあわせて全員の当選をめざし、各構成組織内での浸透、集会の実施、教宣紙やSNS等のインターネットも活用しながら、取り組みを進めてきました。

7月10日の投票日には、熊本市東区の出口しんたろう総合選対事務所に多くの関係者が集まり結果を待ちましたが、残念ながら当選を果たすことはできませんでした。

結果が出ると、まず鎌田聡選対本部長から「熊本においては野党の足並みもそろった中で戦うことができたが、厳しい結果となった。出口候補の訴えを聞いて共感してくれる人も多かった。候補者選定が出遅れた中であって、連合熊本はじめ、支援にあたっていただいた多くのみなさまに感謝する」と挨拶がありました。続いて出口氏が「連合熊本はじめ、多くのみなさまに支援いただいたが、結果は自分の力不足。私が立候補したことで政治に関心を持ってくれる同世代の人も多くいたと感じる。引き続き努力してまいります」とお礼を述べ、出席者から拍手が起きました。

また、比例区では連合組織内候補として9人が立候補し、全員の当選に向け取り組みましたが、8名の当選という結果となりました。

今回の選挙に際し、熊本選挙区の出口候補、比例区の名義組織内候補の当選に向けご尽力いただいたすべての構成組織、単組、地域協議会、そして組合員、OBのみなさまに心より感謝申し上げます。

<熊本選挙区結果>

投票者数686,238人（投票率49.12%）
出口慎太郎（立憲民主党）149,780票
松村 祥史（自由民主党）426,623票 当選
高井 千歳（諸派）78,101票
本間 明子（NHK党）31,734票



お礼のあいさつを行う出口氏

構成組織・地協紹介 JR 連合熊本県協議会

私たちJR連合は、グループ労組93単組を含めた100単組が結集し、86,000人を擁するJRを代表する産業別労働組合です。

熊本県協議会は、九州旅客鉄道労働組合熊本地方本部（JR九州労組熊本本部）、日本貨物鉄道産業界労働組合熊本支部（貨物鉄産労熊本支部）にて組織しており、618名の組合員が所属しています。役員体制は濱田議長以下7名にて活動しています。

JR連合では私たちが目指す理念としてJR連合ビジョンを策定し活動を展開しています。一要約したものには

なりますが、[地区、系統、会社を越えてJR産業界に集う仲間が組合活動を通じて「出会い」、仲間の輪ができる。そして仲間が上司部下の関係、採用種別の違い、性別の違い、所属する会社の違いといった様々な立場を乗り越えて「ふれあい」、結束する。さらにそうした仲間が「語り合い」、お互いを理解し、不安や悩みを共有することで、力を合わせて様々な課題に対応し、出来上がった仲間の輪を様々な産業へ広げていくこと]です。

私たちは、JR産業界が社会の変化に対応して持続的な発展を築き、組合員・

家族の幸せを実現し、信頼される労働組合となれるように活動を展開していきます。



濱田委員長



café de RAM
熊本県熊本市東区御領5-11-1
TEL 096-380-8696

お気に入り紹介 café de RAM

今回紹介するのは、「café de RAM」東バイパス、熊本インター南の交差点の近くにある落ち着いた雰囲気のカフェです。下通りにもお店があります。

お薦めは、カレー風味のピラフとシーフードシチューの絶妙な組み合わせのシーフードシチューピラフ、そして食後のデザートにはコーヒーゼリーがトッピングされたティラミスカップサンデーです。

その他にも料理・デザートとも多くの種類があります、おいしいコーヒーを飲みながら、ちょっと一息いかがですか？

編集後記

第26回参議院議員選挙は与党圧勝という結果に終わりました。岸田内閣がこれからどのような政権運営を行っていくのか、大変心配されます。

野党の数は減ってしまいましたが、その存在意義は何と言っても政権のチェック機能にあるのではないのでしょうか。与党も野党も基本的には少しでも良い政治をめざしているはずですが、国会のチェック機能が失われ、政権に緊張感が失われた時、右の政権だろうが左の政権だろうが、時に説明責任を果たせなくても、どうにかなるさ的な行政運営をとってしまうのだと思います。常に説明責任を意識し、常に私利私欲のない国民全体の幸福を基準とする与党が存在するために、野党には頑張ってもらいたいと思います。

(Talk to me)

Topics RENO KUMAMOTO

連合熊本公式
facebook YouTube
やってます



連合熊本

RENO KUMAMOTO TV



https://www.facebook.com/jtkumamoto

https://www.youtube.com/channel/UCy1ZfgReV0zu8Kekd-uTShA

今後の主なスケジュール

- 7月30日 連合熊本第3回青年委員会幹事会
- 8月1日 部落解放共闘熊本県民会議第30回総会
- 5-6日 平和行動 in 広島
- 6日 火の国まつり
- 8-9日 平和行動 in 長崎
- 18日 連合熊本第8回女性委員会幹事会
- 22日 連合熊本第11回執行委員会
- 〃 連合熊本第3回地協議長・事務局長会議
- 27日 連合熊本第14回ピースアクション

連合組織内比例候補 8名当選

UAゼンセン かわいたかのり 当選 211,783票	自動車総連 はまぐち 誠 当選 234,744票	自治労 鬼木 まこと 当選 171,619票
電機連合 矢田 わかこ — 159,929票	基幹労連 村田 きょうこ 当選 125,340票	JP労組 しば 慎一 当選 127,382票
日教組 古賀 ちかげ 当選 144,344票	電力総連 竹詰 ひとし 当選 238,956票	情報労連 石橋 みちひろ 当選 111,703票

6割超の組合で賃上げ獲得！

2022春季生活闘争最終集計結果を公表

連合熊本は7月7日、2022春季生活闘争における最終の賃上げ集計結果を公表しました。熊本県全体の賃上げ額は5,774円・2.15%（昨年同期比+1,354円・0.45ポイント増）となり、昨年比で大幅増となりました。このうち、300人以上の組合では、金額、率ともに全国平均を上回る結果であり、全体では3年ぶりに2%を超えるなど、コロナ禍前の2019闘争を超える水準での結果となりました。

また、賃上げが明確に分かる組合の集計では、300人未満の組合が、昨年に引き続き「率」で300人以上の組合とほぼ同じ水準となっており、中小組合の健闘がみられる結果となっています。コロナ禍にあっても、中小組合の賃上げの流れは継続していると判断できます。また業種別では、大手製造業と商業流通を中心に賃上げがなされ、全体を上げました。妥結組合数は昨年の60組合から12組合増加の72組合となりました。賃上げについては、自動車関連や半導体製造装置といった製造業と、流通大手を中心に大幅な賃上げが報告されており、報告のあった72組合中、44組合で実施され、実に6割以上、そして昨年の倍以上の組合で賃上げが実施されるという状況となりました。最終評価については、これから機関会議を経て取りまとめることとなりますが、労働組合が社会を動かしていく「けん引役」として、一定の役割（未組織労働者の賃上げ、及びこれから始まる最低賃金の審議など）に対する世論喚起を果たすことができたと受け止めます。

熊本集計	組合員数による加重平均						
	2022回答（2022年7月7日公表）			昨年対比	2021回答（2021年7月7日公表）		
	組合数	定昇相当分込み賃上げ計			組合数	定昇相当分込み賃上げ計	
平均賃金方式	組合員数	額	率	組合員数	額	率	
	72 組合 17,556 人	5,774 円	2.15 %	1,354 円 0.45 ポイント	60 組合 12,455 人	4,420 円	1.70 %
300人未満	53 組合 5,923 人	4,688 円	1.94 %	648 円 0.24 ポイント	46 組合 5,085 人	4,040 円	1.70 %
300人以上	19 組合 11,633 人	6,566 円	2.32 %	1,892 円 0.63 ポイント	14 組合 7,370 人	4,674 円	1.69 %

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

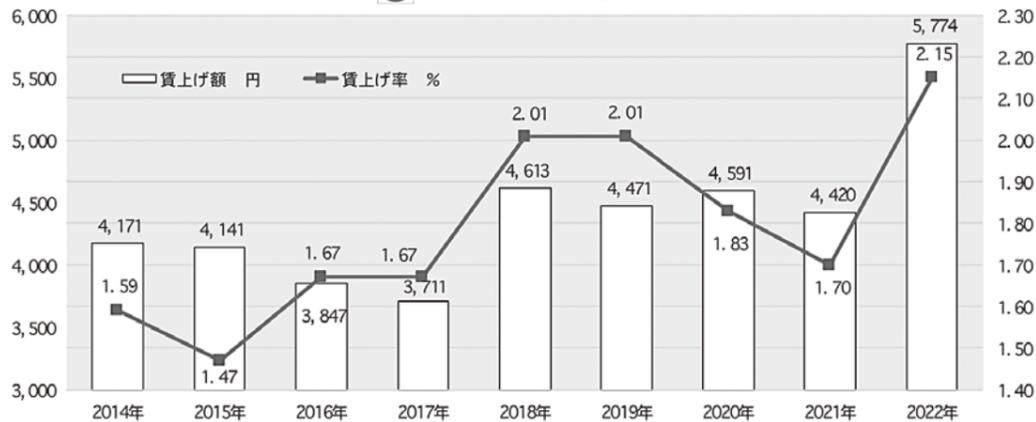
賃上げ分が明確に分かる組合の集計（熊本集計）

平均賃金方式	2022回答（組合員数による加重平均）				【参考：前年同期】2021回答（組合員数による加重平均）			
	組合数 組合員数	計	定昇相当分	賃上げ分	組合数 組合員数	計	定昇相当分	賃上げ分
	44 組合 13,023 人	6,223	4,203	1,843	19 組合 3,873 人	4,528	3,135	1,432
		率(%)	率(%)	率(%)		率(%)	率(%)	率(%)
		2.33	1.57	0.74		1.72	1.22	0.56
300人未満	29 組合 3,402 人	5,561	3,934	1,608	15 組合 1,895 人	4,381	3,326	1,258
		率(%)	率(%)	率(%)		率(%)	率(%)	率(%)
		2.28	1.58	0.70		1.82	1.39	0.54
300人以上	15 組合 9,621 人	6,589	4,352	1,927	4 組合 1,978 人	4,662	2,959	1,600
		率(%)	率(%)	率(%)		率(%)	率(%)	率(%)
		2.36	1.57	0.76		1.64	1.05	0.58

※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

回答・妥結の推移 2014~2022



雇用における男女平等を要請

6月27日、熊本労働局において、連合熊本ジェンダー平等多様性推進委員会、女性委員会により「雇用における男女平等に関する要請」を行いました。連合熊本からは、森田ジェンダー平等多様性推進委員会委員長、乗富女性委員会委員長、木村女性委員会副委員長、和田女性委員会副委員長、宮地女性委員会事務局長、徳富副事務局長が出席し、熊本労働局からは北口雇用環境・均等室長他2人の出席がありました。冒頭、森田委員長が代表して要請書を北口室長に手交したあと、生活困窮者への人道支援、失業女性の雇用問題、育児、介護と仕事の両立のための環境整備、ハラスメント対策の強化など、要請書の主旨を説明したのに対し、労働局から両立支援を推進するための様々な支援策やハラスメントへの対応等について説明されました。

女性委員会からは、男性の育児休業制度などの活用についてはまだまだニーズがあること、介護休暇の推進に力を入れて欲しいこと等の意見が出されました。一方、労働局

から出席の男性指導官からは自分が育休を取った経験について、取得できたことについては所属長の後押しが大きかったこと、後輩の男性職員が大変興味を持ってくれたことなどが話されました。最後に乗富委員長より、「制度は国による推進のための対応で大きく前進する。今後も積極的な取り組みをお願いしたい」と意見交換を締めくくりました。



意見交換

地協報告

2022男女平等参画を考える県南の集い

県南地協は、6月26日(日)、桜十字ホールやつしろにおいて「2022男女平等参画を考える県南の集い」を開催しました。

まず、柴田実行委員長が、「熊本県は都道府県版のジェンダー・ギャップ指数が大きい状況にあります。熊本県の



男女平等について意見交換する参加者(県南地協)

育児休暇取得率、家事時間の男女格差がひどい。政治分野では、女性議員が増えると固定観念がなくなる方向に進み、社会の柔軟性が高まると考えています」と開会挨拶。

連合熊本友田会長の来賓挨拶後、岩田智子県議会議員から、「意思決定の場に3割以上の女性がいなければ、ジェンダー差別を放置したままとなり、政策が偏る。3割以上ならば変化が生まれる。女性の政治参画を進めるには、議員の働き方改革を進め、クォーター制導入の法律を作っていく事が大事」など、女性議員を増やしていくことの必要性についてご講演いただきました。

また、後半は参加者が各テーブルごとに自己紹介をしながら講演についての感想や、疑問に思っている事など活発な意見交換が行なわれました。

最後に、県南地協松崎議長が「ジェンダー平等をこれからの一歩進めて行く決意であることを確認」とまとめ、閉会しました。

就職差別撤廃に向けた要請行動

部落解放共闘熊本県民会議（以下、解放共闘）は7月19日に熊本労働局、経営者協会、商工会議所連合会、私立中学高等学校協会へ、7月25日に熊本県、熊本県教育庁に対して、就職差別の撤廃に向けた要請を行いました。連合熊本からは共闘会議の議長である友田会長、事務局長である山本事務局長、会計監査である徳富副事務局長が参加しました。

要請では、採用差別が起きないよう厚生労働省の参考様式に準じた応募様式の徹底や性的マイノリティの人たちに対する差別問題への対応を要請しました。特に応募様式の問題では、様式は統一用紙を使いながらも、家族構成や出身地などを口頭で尋ねたり、改めて生徒に電話をして聞くなどの事例がまだ発生している等、能力とは関係のない採用実態があることなどを説明し改善を求めました。さらに、連合調査の結果では会社独自の履歴書様式の使用を求めら

れた人の割合が58%に上るなど、まだまだ差別につながる採用実態が示されています。連合熊本では、解放共闘を組織する関係団体と連携して、今後もあらゆる差別の撤廃に向け取り組みを進めて参ります。



趣旨説明を行う山本事務局長